

《令和3年度 絵本の取り組みについて》

絵本に親しみを持ち、いつでも触れることができることをテーマにして、二つの取り組みを行いました。

①4,5歳児 絵本の貸し出し

【内容】

毎週金曜日、絵本コーナーの中から子どもたちが好きな借りたい絵本を一人一冊選び、絵本の貸し出しを行ないました。

【工夫した点】

- ・平置きラックで表紙を見せて置くことで興味を持ったり、子どもたちの目線の高さの棚なので、いつでも手に取ることができたりするようにしました。
- ・昔話や大人気シリーズのもの、子どもたちの興味のある乗り物等、様々なジャンルを用意し絵本を出しています。

【子どもたちの反応】

金曜日になると『今日は、絵本の貸し出し日』ということを楽しみ、嬉しそうにして絵本を借りる姿が見られました。また、借りたい絵本が友だちと重なると『いいよ』と譲り合い、子どもたち同士で決め合う姿も見られました。



②絵本給食

【内容】

毎月、誕生日会のおやつでは、より親しみが持てるように一冊の絵本に出てくるおやつを提供しました。

【工夫した点】

- ・物語の世界観や、絵本を味わいながら食も楽しむことが出来るようにしました。
- ・事前に、保育者が読み聞かせをし、親しみをより持てるようにしました。
- ・絵本の中と同じような大きさを作り、より親しみを持ったり、一つのを分け合うことの大切さも学んだりすることが出来るようにしました。

【子どもたち】

・実際、絵本の読み聞かせをすると、『今度、これが出てくるんだ』という期待感が膨らんだり、絵本の中と同じような大きさをビスケット等が出てくると驚きと共に喜んだりする姿が見られました。



↑ぐるんぱのようちえん